

第 17 回 運営推進会議 報告書

日 時:令和 7 年 3 月 12 日 11:45～12:30

場 所:介護予防センター 早稲田イーライフ出雲

出席者:出雲市役所 高齢者福祉課 1 名

大津コミュニティーセンター 1 名

利用者様 ご家族様 2 名

早稲田イーライフ出雲 職員 1 名

- 議 題:
- 1 事業所概要説明、方針
 - 2 利用状況
 - 3 活動内容
 - 4 感染症対策について
 - 5 災害時の対応について
 - 6 ヒヤリハット・事故について
 - 7 ご意見・ご感想

1、事業所概要説明、方針

- ・半日型で各定員 10 名のデイサービスです。
- ・午前…要支援コース。午後…要支援、要介護コースです。午前2時間、午後3時間のコースです。
- ・運動に対し、主体的、自立的な運動習慣を身につけていただくことを目指しております。
- ・マシンを利用した筋力トレーニングとレッドコードを使用したストレッチを組み合わせた運動プログラムを中心に、準備運動、椅子で座ってできる下肢筋力運動、イーライフボールを使用して体の凝りをほぐすなど多様なプログラムを実施しております。
- ・3 ヶ月ごとにアユミアイという器具を用いて身体機能測定を行っております。腰に測定器を付けたベルトを装着し、一定距離を歩行することで歩行のリズム、推進力、バランスが測定できるものです。利用者様ごとに測定結果をプリントアウトしお渡ししています。過去 3 回分の記録も載りますのでご自分の結果の推移を確認することができます。同時に身長、体重、握力測定も行っております。
- ・3 か月ごとに早稲田イーライフ本部より季刊誌「ウェリスト」と血圧や身体の状態を記録するイーロコモ手帳が発刊され皆様にお渡ししております。イーロコモ手帳は利用日に持ってきていただき、イーライフで測定した血圧、脈拍、体温を記入させていただいております。

2、現在の利用状況（2025 年 3 月 6 日現在）

・利用者数 63 名

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	計
男性	5	2	7	8	0	22
女性	7	14	10	9	1	41
計	12	16	17	17	1	63

・年代別利用者数

	～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳～
男性	1	1	5	9	4	2
女性	0	1	3	11	17	9
計	1	2	8	20	21	11

3、活動内容の報告

職員研修

・月ごとにテーマを決めて行っております。

令和6年 10 月「認知症に関する研修」

11 月「高齢者虐待防止研修」(出雲市人権同和政策課 石倉様講演)

12 月「プライバシーの保護の取り組みに関する研修」

令和7年 1 月「感染予防対策と発生時対応について」

2 月「ハラスメント研修」

3 月「リスクマネジメント研修」

※今年度、来年度は天津地区が出雲市同和教育研究指定事業となっております。当事業所でも人権・同和教育の為に11月に、出雲市人権同和政策課の方を講師にお招きし、とても大切なお話を聞かせていただきました。今まで社会人として常識と思っていたことも今では差別になりかねないこと、普段何気なく使っている言葉が実は差別をしている言葉になっていることを学びました。

地域との活動

- ・毎年2回大津地区のクリーン活動に職員が参加しております。

利用者様のレクリエーションについて

- ・令和6年11月と12月に紅葉見学を兼ねて万九千神社や朝山神社へドライブに出かけました。希望者は車から降りて参拝もされました。岩根寺では大銀杏の木を車中から見学されました。
- ・令和7年1月～2月は外出をせず、休憩時に希望する方は脳トレとして計算問題や地理問題などプリントをお渡しし、問題を解いておられました。

4、感染症対策について

- ・マスク着用励行の継続。
- ・換気の実施、手指消毒、体調確認など引き続き感染対策に取り組んでおります。
- ・体調に不安のある方は利用中にもバイタル測定をし、体調確認を行っています。

5、災害時の対応について

○避難訓練について

- ・令和6年12月11日(水)午前中、火災を想定した避難訓練を行いました。
当日の利用者5名、職員4名での訓練となりました。
火災発見から屋外避難完了まで約2分かかりました。
今回も避難訓練を実施することを事前に皆様に伝えていたため、スムーズな避難ができたと思います。

○気象、災害について

- ・令和6年10月～令和7年3月まで気象・災害による営業中止はありませんでした。
- ・2月は積雪があり、路面状況を見て安全な送迎ができるよう利用者様と送迎方法について確認をさせていただくことができました。
- ・令和7年2月にBCP研修を職員で行いました。実際の災害があった際にできる限り早急に通常の業務やサービスの提供ができるように研修と訓練を行いました。

6ヒヤリハット・事故について

- ・ヒヤリハット・事故件数 11件

【内容】・移動時の尻もち転倒…1件

- ・ふらつき、バランスを崩される…4件
- ・職員による歩行器のフックのかけ忘れ…1件
- ・普段歩行器を使用されている方が歩行器を使用されずに歩行を開始された…1件
- ・見守り不足による利用者様の突発的な行動3件
- ・担当者会議開始時間の入力間違い…1件

7 ご意見・ご感想

・午後の要支援の方は要介護の方と同じ運動をしておられますか？

→同じメニューで取り組んでおられます。

・避難訓練は誰もができるように曜日を変えて行われていますか？

→はい、利用者様の出入りもありますので曜日を変えて皆さんが参加できるように計画を立てています。

・BCP とは何ですか？

→BCP とは事前に災害を想定し計画を立てておくことで実際の災害が起こった際にできる限り早く業務を再開し必要なサービスの提供ができるようにすることです。

・災害が起こった際、イーライフで想定される被災はどのようなものがありますか？

→まずは電気、水道などのライフラインの被災が想定されます。こちらが復旧するまでは営業は難しくなると想定されます。非常用の飲料水の備蓄はあります。建物が損壊するほどの被災があった際も当面は営業ができないと思います。

・午前のコースと午後のコースの間の昼休憩でスタッフのみなさんも気持ちをリセットすることができますね。一日のデイサービスではこのような時間が持てず、常に気を張っていないといけない現場が多いです。交代で休憩を取るよりこちらのようにスタッフみんなで休憩を取ることで午前中にあったことなどの情報共有ができたりできるのですね。

→スタッフも人間です。色々な事がありますが、昼休憩で気持ちをリセットし新たな気持ちで午後の利用者様をお迎えすることができます。